

プログラム

会場：福岡電気ビル 共創館

第1日目 7月20日(土)

9:30～9:45

開会・大会長挨拶

第1会場(4階 みらいホール)

大会長：徳永 雄一郎(医療法人社団新光会 不知火病院)

9:45～10:30

基調講演(理事長講演)

第1会場(4階 みらいホール)

座長：阿部 裕(四谷ゆいクリニック)

「異文化ストレス症候群」再考

大西 守(公益社団法人 日本精神保健福祉連盟、日本外来精神医療学会 理事長)

10:30～12:30

シンポジウム1

第1会場(4階 みらいホール)

座長：今村 明(長崎大学病院 地域連携児童思春期精神医学診療部)

高野 知樹(医療法人社団弘富会 神田東クリニック)

S1 [発達に課題を持つ患者の人格を成長させる]

S1-1 関係病理を見据えた治療によって患者の人格発達は促される

小林 隆児(西南学院大学大学院 人間科学研究科臨床心理学専攻)

S1-2 発達に課題を持つ患者の人格を成長させるために

田中 理香(スタジオ リカ クリニック)

S1-3 神経発達症者の愛着、トラウマ、人格発達の問題

今村 明(長崎大学病院 地域連携児童思春期精神医学診療部)

S1-4 うつ病と人格の発達

徳永 雄一郎(医療法人社団新光会 不知火病院)

特別指定討論 西園 昌久(福岡大学 名誉教授)

L1 不安症とうつ病との関連について ～特に社交不安症(SAD)に着目して～

朝倉 聡(北海道大学保健センター・大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室 准教授)

共催：持田製薬株式会社・吉富薬品株式会社

座長：市来 真彦(東京医科大学 精神医学分野、東京医科大学病院)
島松 まゆみ(医療法人社団新光会 不知火病院)

S2 [ミニ・シンポジウム「笑いと精神科医療」&ワークショップ「笑いヨガ」]

S2-1 笑いと精神医療 ～こころと身体を癒す笑いの効果～

大平 哲也(福島県立医科大学 医学部 疫学講座)

S2-2 現代の外来精神科医療における治療目標と治療戦略 ～二軸の論理と笑いの関係～

市来 真彦(東京医科大学 精神医学分野)

座長：内田 直樹(医療法人すずらん会 たろうクリニック)
早坂 友成(杏林大学保健学部 作業療法学科)

S3 [集団療法からみた外来治療の多様性]

S3-1 当事者・家族との協働 ～「誰でも地域で暮らせる」を目指して

木村 尚美(医療法人社団宙麦会 ひだクリニック)

S3-2 リワークプログラムにおける集団療法の有効性

前田 隆光(東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック
産業精神保健・職場復帰支援センター)

S3-3 フリースクール運営から考える精神科医療における思春期支援

平尾 渉(医療法人静光園 第二病院
カウンセリングルーム・フリースクール・サポート校『ソフィア』)

S3-4 多職種連携から超職種連携へ ～デイケアのチーム力からの学び～

内野 俊郎(久留米大学医学部 神経精神医学講座)

15:50～17:20 シンポジウム4

第1会場(4階 みらいホール)

座長：堀 輝(産業医科大学医学部 精神医学教室)

S4 [アジア諸国の外来精神医療]

S4-1 韓国の外来及び Day Care 現況

朴 相運(大同病院)

S4-2 上海市精神衛生中心外来精神医療及び精神医療現状

南 達元(上海交通大学附属上海市精神衛生中心)

S4-3 アジアの精神医療の流れ —施設から地域での治療へ—

新福 尚隆(神戸大学医学部 名誉教授、福岡ブックスクリニック)

15:50～17:20 シンポジウム5

第2会場(3階 カンファレンス室 A)

座長：衛藤 暢明(福岡大学医学部 精神医学教室)

松下 満彦(医療法人社団新光会 不知火病院)

S5 [自殺防止]

S5-1 自殺予防外来の試み

衛藤 暢明(福岡大学医学部 精神医学教室)

S5-2 入院治療と外来治療からみた、希死念慮への取り組み

松下 満彦(医療法人社団新光会 不知火病院)

S5-3 阪南病院における自殺予防活動の実際

江藤 真一(医療法人杏和会 阪南病院)

**WS 太古の医学アーユルヴェーダの精神科治療
～非薬物治療としての『シローダーラ』の大きな可能性～**

田端 瞳(医療法人社団新光会 不知火病院)

座長：大西 守(公益社団法人 日本精神保健福祉連盟、日本外来精神医療学会 理事長)

時代の変化と国民のニーズからみた精神医療

徳永 雄一郎(医療法人社団新光会 不知火病院)

座長：五十嵐 良雄(医療法人社団雄仁会 理事長)

横山 太範(医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック)

S6 [治療初期に休職者の復職可能性を予測する]

S6-1 かなめクリニック・リワーク利用者にみる復職可能性の見立て

要 済(医療法人要会 かなめクリニック)

**S6-2 復職可能性を予測して、高めるために
～リワークプログラムの質の重要性**

片桐 陽子(医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック)

S6-3 リワークプログラムにおける職場連携に関して

高田 和秀(医療法人社団新光会 不知火病院)

**S6-4 継続復職を予測する要因について
～不知火式復職準備性チェックリストより**

大仁田 広恵(ジャパンEAPシステムズ)

座長：永井 宏(医療法人日明会 日明病院)

大西 守(公益社団法人 日本精神保健福祉連盟、日本外来精神医療学会 理事長)

S7 [スポーツ精神医学とは ～集団治療とスポーツ]

S7-1 精神科デイケアにおけるスポーツの実際

横山 浩之(福岡大学医学部 精神医学教室)

S7-2 統合失調症におけるスポーツの役割

田中 謙太郎(医療法人社団緑風会 水戸病院)

S7-3 スポーツ精神医学とは

永井 宏(医療法人日明会 日明病院)

S7-4 精神障害者スポーツの国際化への道のり

大西 守(公益社団法人 日本精神保健福祉連盟、日本外来精神医療学会 理事長)

座長：白川 治(近畿大学医学部 精神神経科学教室)

L2 軽症うつ病の診断と治療 ー特に適応障害によるうつ状態との鑑別

中村 純(社会医療法人北九州病院 北九州古賀病院)

共催：日本イーライリリー株式会社・塩野義製薬株式会社

座長：松下 満彦(医療法人社団新光会 不知火病院)

L3 統合失調症における dopamine regulator の有用性： アリピプラゾール(LAI)とブレクスピプラゾールの可能性

吉村 玲児(産業医科大学医学部 精神医学教室)

共催：大塚製薬株式会社

座長：佐久間 啓(社会医療法人 あさかホスピタル)

張 賢徳(帝京大学医学部 医学科 医学部附属溝口病院 精神神経科)

S8 [外来機能の拡大と連携]**S8-1 精神科医による認知症患者への訪問診療**

浦島 創(医療法人すずらん会 たろうクリニック)

S8-2 単科精神科病院外来における弁証法的行動療法の取り組み

進藤 太郎(医療法人唐虹会 虹と海のホスピタル、福岡大学医学部 精神医学教室)

S8-3 当法人における外来機能の拡大と連携

横山 太範(医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック)

座長：栗田 輝久(医療法人社団桜珠会 可也病院)

小山 文彦(東邦大学医療センター佐倉病院)

S9 [入院治療から見た外来精神医療]**S9-1 入院形態からみたうつ病の入院治療**

山岡 功一(医療法人社団澤記念会 神経科浜松病院)

S9-2 ストレスケア病棟治療経験から見えてきたもの

三根 芳明(医療法人社団明和会 西八王子病院)

**S9-3 入院医療から見た外来医療
—精神科クリニックの立場から—**

三木 和平(医療法人社団ラルゴ 三木メンタルクリニック)

15:15～16:00 **特別講演**

第1会場(4階 みらいホール)

座長：内野 俊郎(久留米大学医学部 神経精神医学講座)

福岡県の外来精神医療
～福岡県デイ・ケア研究協議会30年の歩み～

飯田 仁志(福岡大学医学部 精神医学教室)

16:00～

閉会式

第1会場(4階 みらいホール)

一般演題(ポスター) プログラム

会場：福岡電気ビル 共創館

第1日目 7月20日(土)

14:10～15:10

一般演題(ポスター発表)

ポスター会場(みらいホール ホワイエ)

- P-01** 甘木病院における外来患者数の推移について
○吉良 健太郎
医療法人祥風会 甘木病院
- P-02** 東アジア諸国の条約難民・難民認定申請者の受け入れ課題
—日本と韓国と台湾の比較から—
○鶴川 晃
大正大学人間学部 人間環境学科
- P-03** 外国人初診患者が電話予約時から診察を受けるまでの受付、心理の役割
○堺 志緒里
四谷ゆいクリニック
- P-04** 外来看護における自殺予防
○有野 裕子
医療法人社団新光会 不知火病院
- P-05** 勤怠が安定しない勤労者の適応支援について
—パーソナリティの発達促進からの考察—
○加来 明希子¹⁾²⁾、高野 知樹²⁾、吉村 靖司²⁾、武田 龍太郎¹⁾
1)慶神会 武田病院、2)弘富会 神田東クリニック
- P-06** 気分障害に対する集団認知行動療法の実施前後における
バウムテスト特徴の変化
○水野 康弘、玄 東和、諸井 振吾、張 賢徳
帝京大学医学部附属溝口病院 精神科
- P-07** 精神症状の改善による早朝空腹時血中コルチゾールの変化
○南 さわこ、佐藤 康弘
医療法人社団桐藤会 佐藤内科診療所
- P-08** 外来カウンセリングナーズの治療的意義
○松尾 富佐子
医療法人社団新光会 不知火病院

- P-09** 総合病院コンサルテーション外来に対しての非精神科医が求めるもの
○片岡 岳
板橋中央総合病院
- P-10** 外来におけるうつ病休職者の復職支援
～チームリハビリテーションの視点から復職条件を考える～
○前田 佐織、田嶋 祐一郎、品川 純子、龍 亨、佐藤 圭、松下 満彦、徳永 雄一郎
医療法人社団新光会 不知火病院 リハビリテーション科
- P-11** 就労している依存症者への集団精神療法
リカバリープログラムの取り組み
○野口 麻祐子
医療法人社団明善会 御徒町榎本クリニック
- P-12** 外来マインドフルネス集団療法における課題と効果について
○杉本 浩利、松尾 好子、島松 まゆみ、松下 満彦
医療法人社団新光会 不知火病院
- P-13** 当院リワークにおけるプログラムの課題と対策
○寺田 真美、久保田 真作、木佐貫 由美子、迫田 さおり、溝口 祥子、森田 瞳、
諏訪 克也、小林 謙太郎、佐藤 大輔
公益社団法人 いちちょうの樹 メンタルホスピタル鹿児島
- P-14** 「訪問」から「地域へ」つなげるステーション
～三家クリニックならではのひきこもり支援を考察する～
○渡辺 雄貴¹⁾、三家 英明²⁾
1) 医療法人 三家クリニック みつや訪問看護ステーション、2) 医療法人 三家クリニック
- P-15** 外来における r-TMS の現状と取り組み
～開始前後の変化を通して～
○宮崎 由美、小松 ゆみ、川原田 由理、大塚 郁恵
医療法人唐虹会 虹と海のホスピタル 外来
- P-16** リワークプログラムを通じた参加者の内心と行動の変容についての調査
○佐藤 圭¹⁾、田嶋 祐一郎¹⁾、松下 満彦¹⁾、徳永 雄一¹⁾、後藤 玲央²⁾、川崎 弘詔²⁾
1) 医療法人社団新光会 不知火病院、2) 福岡大学医学部 精神医学教室
- P-17** 再休職を前に表出する不調のサイン
～連携の観点から、再休職予防のために医療機関ができること～
○中間 智子
医療法人社団新光会 不知火クリニック

P-18 リワークプログラム修了後のフォローアップの取り組み

○進藤 太郎¹⁾²⁾、古久保 秀夫¹⁾、山口 佳良子¹⁾、横田 淳¹⁾、上堀内 洋允¹⁾、
山口 千晴¹⁾

1)医療法人唐虹会 虹と海のホテル、2)福岡大学医学部 精神医学教室

P-19 当院における弁証法的行動療法のグループスキルトレーニングの実践について

○進藤 太郎¹⁾²⁾、野口 優佳¹⁾、山口 雄三¹⁾、富永 信平¹⁾、仮屋崎 優樹子¹⁾、
小松 ゆみ¹⁾

1)医療法人唐虹会 虹と海のホテル、2)福岡大学医学部 精神医学教室

P-20 外来診療に弁証法的行動療法のグループスキルトレーニングを導入した
3症例について

○富永 信平、進藤 太郎

医療法人唐虹会 虹と海のホテル